

日本語教育事業概観

①日本語教育情報交流

下記の日本語教育関係資料・情報を提供(ウェブサイト、JFICライブラリー等で閲覧できます)。

①「日本語教育通信」58～60号

海外の日本語教師および学習者を対象に、教材情報、授業のアイデア、日本事情や日本語教育情報等を提供(ウェブサイトで紙冊子PDF版およびウェブサイト限定記事を公開)。編集・発行、日本語グループ。



②「国際交流基金日本語教育紀要」3号

ジャパンファウンデーションの日本語教育事業に携わる専門家等の研究論文、事業報告等を掲載(ウェブサイトでPDF版を公開)。編集・発行、日本語事業部企画調整課。



③「日本語教育論集 世界の日本語教育」17号

世界の日本語教育、日本語学の研究論文、実践・事情報告を掲載する専門公募論文誌(ウェブサイトで全論文の要旨および全文PDF版を掲載)。JFICライブラリー・(株)凡人社等で販売。2,200円。



④日本語教育国別情報

海外における日本語教育の実施状況、教育制度、教科書、シラバス、教師および学習者に関する情報等をウェブサイト上で紹介。

②海外日本語教育機関調査

全世界の日本語学習者、日本語教師、日本語教育機関に関する定期的調査。最新の調査は2006年度に実施し、調査結果として「海外の日本語教育の現状＝日本語教育機関調査・2006年＝」を2007年度に発行しました。

③弁論大会の開催

第48回『外国人による日本語弁論大会—関西国際センター設立10周年記念—』を、大阪府泉佐野市にて開催しました。高円宮妃殿下御臨席のもと、応募者111名にのぼる予選を通過した12名が日本語でスピーチをしました。

④日本語教育専門家派遣

海外の日本語教育の中核となる日本語教育機関に対して、以下の通り、日本語教育専門家、ジュニア専門家、日本語教育指導助手等を派遣しています。

1 日本語教育専門家	37カ国	73件
2 ジュニア専門家	15カ国	27件
3 日本語教育指導助手	10カ国	12件

(2007年度末時点)

⑤日本語教育機関支援・日本語教育プロジェクト支援等

海外の日本語教育の中核となる日本語教育機関や日本語教育学会、日本語教育NGOが行う学会、弁論大会、講座等に対して助成を行いました(170件)。

⑥日本語能力試験(→18頁)・年少者インターネット試験

「インターネット日本語しけん すしテスト」

<http://momo.jp.go.jp/sushi/>

ジャパンファウンデーションが海外の日本語入門レベルの年少者を対象としたインターネット上のテストとして独自に開発したもので、2004年3月に公開されました。

ユーザー登録すれば、無料で何度でもテストが受けられます。絵を見たり、音を聞いたりして答えを選ぶ等3つのパート29問を30分以内に答えると、得点に応じて「すし」を握ってもらえます。

⑦海外日本語教師支援ウェブサイト「みんなの教材サイト」

<http://momiji.jp.go.jp/kyozai/>

ジャパンファウンデーションが、主に海外の日本語教師の教材作成を支援するために独自に開発したもので、2002年5月に公開されました。

ユーザー登録をすれば、日本語教育のために自由に利用できる写真やイラスト、文法解説・例文等の教材用素材が手に入ります。日本語版だけでなく、英語版・韓国版もあります。2002年の公開以来、毎年、素材や機能を拡充しており、2007年度には約335万件(ページビュー)のアクセスがありました。

⑧日本語教材制作助成

海外の日本語教育の教材、副教材、辞書等を出版する7カ国の機関に対して、制作費の一部助成を9件行いました。

⑨日本語教材寄贈

世界104カ国1,028の日本語教育機関に対し、現地では入手しにくい日本語教材を寄贈しました。

⑩日本語国際センターにおける海外日本語教師研修等

海外の日本語教師を招へいして、日本語教授法研修、共同研究等を実施しました(464名)。



⑪関西国際センターにおける研修

職務や専門の上で日本語を必要とする専門家や海外の日本語学習者を招へいして、それぞれのニーズに応じた日本語研修を実施しました(477名)。

